

**重点課題**

【課題1】 主語と述語の関係を捉えることができず、問いに対する答えを記述することに課題がある。(A問題 設問5) (平均正答率27.5%)

【課題2】 複数の条件に合わせて、自分の考えを書くことに課題がある。(B問題設問2) (平均正答率17.4%)

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

【課題1】

- ・作文指導の際に、主語と述語が正しく対応しているかどうか読み返すように指導する。
- ・主語と述語が正しく対応していない文の間違いはどこか考えさせる。日常生活で話す時も、正しい言葉、文で話すように指導する。

【課題2】

- ・条件付き作文に慣れさせる。
- ・複数の情報がある場面で、分類・整理させ、特徴や気付きを書かせる授業を行う。他教科でも同様に行う。

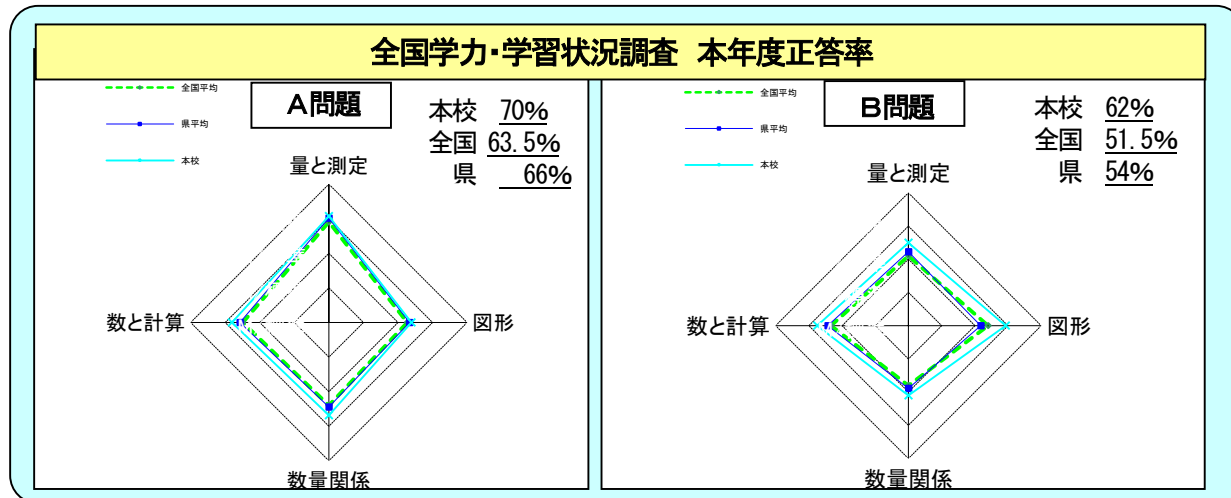
※ 小中一貫した取組については、書く力に課題があるので、条件作文を繰り返し書く活動を取り入れることで発達段階に応じて書く力を身につける指導を行う。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月       | 12月 | 1月                    | 2月                | 3月 |
|-------|----|-----|-----------|-----|-----------------------|-------------------|----|
| 学年・方法 |    |     | 6年生・自校テスト |     | 5・6年生<br>標準学力調査(類似問題) | 5年生<br>H30全国学力A問題 |    |
| 目標値   |    |     | 80.0%     |     | 60.0%                 | 75.0%             |    |
| 実施後数値 |    |     | 91.5%     |     | 72.8%                 | 85.0%             |    |

| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月       | 12月 | 1月                    | 2月                | 3月 |
|-------|----|-----|-----------|-----|-----------------------|-------------------|----|
| 学年・方法 |    |     | 6年生・自校テスト |     | 5・6年生<br>標準学力調査(類似問題) | 5年生<br>H30全国学力B問題 |    |
| 目標値   |    |     | 80.0%     |     | 60.0%                 | 60.0%             |    |
| 実施後数値 |    |     | 91.5%     |     | 72.5%                 | 73.0%             |    |

**来年度に向けて**

条件付き作文を書く活動を繰り返し取り入れ、書いた作文を相互評価で交流する場を通して、発達段階に応じた書くポイントに気付かせる。



**重点課題**

【課題1】 メモの情報とグラフを関連付け、グラフの意味を解釈し、それを記述する力に課題がある。  
(B問題 設問3(1)) (平均正答率29.0%)

【課題2】 単体量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解する力に課題がある。(A問題 設問4(2)) (平均正答率46.4%)

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

【課題1】・算数科以外においても、グラフを読む際、増減、割合など、どこに着目すれば必要な情報を得ることができるのかを意識できるように、観点を押さえながら授業を行う。  
・グラフから読み取ったことを数値を挙げながら説明させる。

【課題2】・授業の自力解決場面で、式、図、言葉を結びつけて演算決定し、答えを求めさせる。  
・公式を導く活動をさせることにより、公式の表す意味を理解させる。

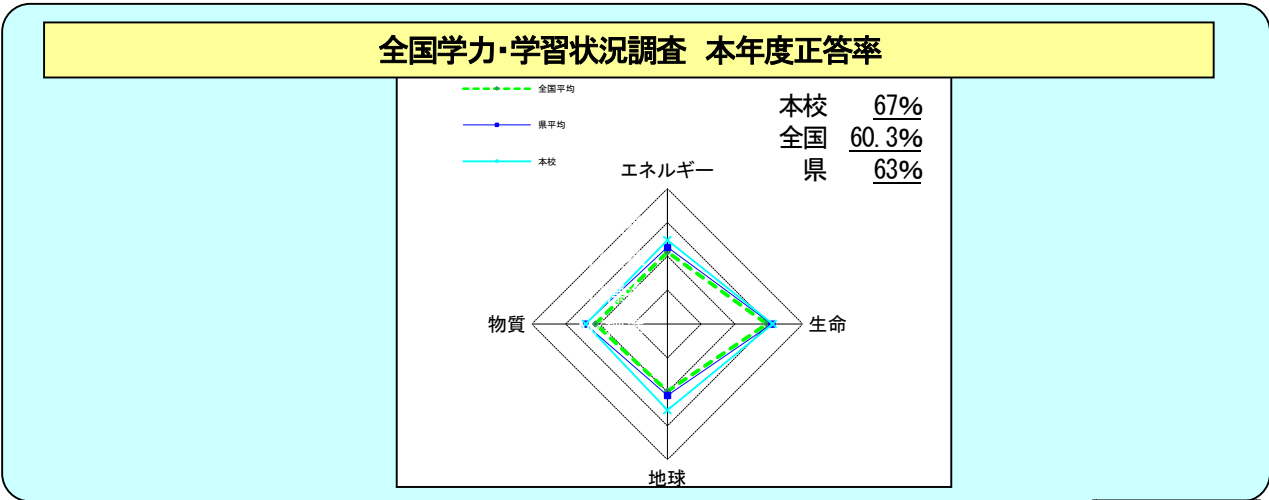
※ 小中一貫した取組については、表現力に課題があるので、基礎的用語や内容を定着させ、それらを用いて自分の考えをまとめ互いに説明し合うことで、表現力を高める指導を行う。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月       | 12月 | 1月                    | 2月                | 3月 |
|-------|----|-----|-----------|-----|-----------------------|-------------------|----|
| 学年・方法 |    |     | 6年生・自校テスト |     | 5・6年生<br>標準学力調査(類似問題) | 5年生<br>H30全国学力B問題 |    |
| 目標値   |    |     | 80.0%     |     | 60.0%                 | 60.0%             |    |
| 実施後数値 |    |     | 83.0%     |     | 64.5%                 | 61.0%             |    |

| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月       | 12月 | 1月                    | 2月                | 3月 |
|-------|----|-----|-----------|-----|-----------------------|-------------------|----|
| 学年・方法 |    |     | 6年生・自校テスト |     | 5・6年生<br>標準学力調査(類似問題) | 5年生<br>H30全国学力A問題 |    |
| 目標値   |    |     | 80.0%     |     | 60.0%                 | 70.0%             |    |
| 実施後数値 |    |     | 83.0%     |     | 73.1%                 | 73.0%             |    |

**来年度に向けて**

自分の考えを式や図、言葉など、多様な表現方法を用いて説明したり、相手の考えた式や図を読み取ったりする活動を通して、学習内容の理解を深めるようにさせる。



**重点課題**

【課題1】 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用することができない。  
(設問4 (3)) (平均正答率29.0%)

【課題2】 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できていない。  
(設問3 (1)) (平均正答率62.3%)

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

【課題1】 目的に応じた情報を選択して、課題解決のための実験計画を立てさせる。

【課題2】 実際に回路を操作する機会を多くもち、電流の向きを常に意識させながら実験をさせる。

※ 小中一貫した取組については、実験結果等をもとに考察することや自分の考えを表現することに課題があるので、練習問題やグループでの討論の機会を増やして定着を図るための指導を行う。

| 【課題1】 | 9月 | 10月 | 11月       | 12月 | 1月        | 2月 | 3月             |
|-------|----|-----|-----------|-----|-----------|----|----------------|
| 学年・方法 |    |     | 6年生・自校テスト |     | 5年生・自校テスト |    | 5年生<br>H30全国学力 |
| 目標値   |    |     | 80.0%     |     | 80.0%     |    | 65.0%          |
| 実施後数値 |    |     | 88.1%     |     | 83.8%     |    | 65.0%          |

| 【課題2】 | 9月 | 10月 | 11月       | 12月 | 1月        | 2月 | 3月 |
|-------|----|-----|-----------|-----|-----------|----|----|
| 学年・方法 |    |     | 6年生・自校テスト |     | 5年生・自校テスト |    |    |
| 目標値   |    |     | 80.0%     |     | 80.0%     |    |    |
| 実施後数値 |    |     | 88.1%     |     | 83.8%     |    |    |

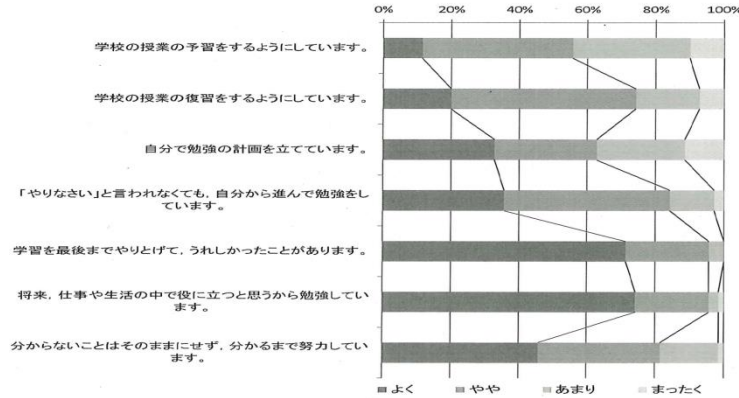
**来年度に向けて**

課題解決のための実験計画を立てさせ、さらに結果の予測をさせることで、考察に生かせるようにさせる。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

学習習慣・学習動機・学習意欲

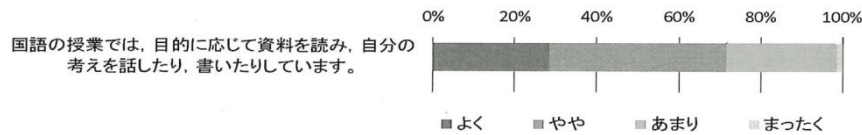


|       | 児童の回答についての課題（現状値） | 今後の具体的な取組の内容   | 学年 | 目標値 | 検証方法                 | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|-------|-------------------|--|----|-----|----------------------|------|------|---------|
| 基礎・基本 | 授業の予習をする。（56%）    | ・家庭学習カードを記入させ、計画的に学習が進められるように助言する。<br>・予習を生かした授業作りをする。 | 5  | 70% | 児童アンケート調査<br>教師による観察 | 1月   | 89%  | 33%     |
| 全国    | 新聞を読んでいる。（31.8%）  | ・新聞記事を読み、月1回は記事について気付いたことや考えたことを書く場を設定する。              | 6  | 50% | 児童アンケート調査<br>提出物     | 1月   | 100% | 68.2%   |

(2) 教科

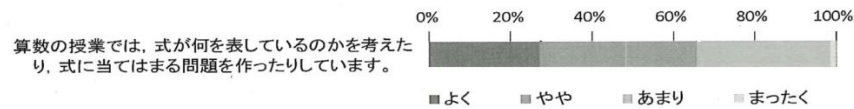
目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしています。

【教科の学習に関する調査 一教科学習への意識 国語一】



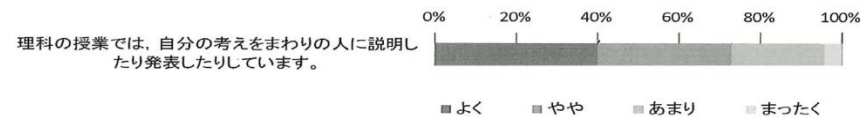
式が表しているものを考えたりあてはまる問題を作ったりしています。

【教科の学習に関する調査 一教科学習への意識 算数一】



自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしています。

【教科の学習に関する調査 一教科学習への意識 理科一】



|    | 児童の回答についての課題（現状値）                             | 授業改善の方向性や具体的な取組   | 学年 | 目標値 | 検証方法                           | 検証時期 | 実施数値 | 現状からの伸び |
|----|---|---|----|-----|--------------------------------|------|------|---------|
| 国語 | 基礎・基本<br>目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている。（72%） | ・自分の考えを整理するための時間を確保する。<br>・資料を活用した考えであったかを児童同士で相互評価をさせる。            | 5  | 90% | 児童アンケート調査<br>教師による観察<br>ノートの記述 | 1月   | 91%  | 18%     |
| 算数 | 基礎・基本<br>式が表しているものを考えたりあてはまる問題を作ったりしている。（68%） | ・問題作りの課題を入れる。<br>・式の説明を書かせる。  | 5  | 90% | 児童アンケート調査<br>ノートの記述<br>テスト     | 1月   | 89%  | 21%     |
| 数  | 全国<br>算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。（78.2%） | ・単元の学習の中で1回は、学習したことが日常生活の中で活用されていることを見付けたり、どう活用できるかを考えたりする活動を取り入れる。 | 6  | 90% | 児童アンケート調査                      | 1月   | 94%  | 15.8%   |
| 理科 | 基礎・基本<br>自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしている。（72%）      | ・自分の考えを整理するための時間を確保する。<br>・自信をつけさせた上で、意図的に指名し、発表の機会を増やす。            | 5  | 90% | 児童アンケート調査<br>教師による観察           | 1月   | 90%  | 18%     |
| 科  | 全国<br>将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたい。（43.4%）          | ・理科や科学技術に関する職業にはどのようなものがあるのか、調べたり紹介したりする。                           | 6  | 75% | 児童アンケート調査                      | 1月   | 78%  | 34.6%   |